

会議名	第1回 池田市立3R推進センター指定管理者選定・評価委員会		
会場	池田市役所 6階第2会議室	月日	平成25年7月17日
内容及び記録	<p><開会> <委嘱状の交付> <委員紹介> <会長の選出> 事務局に一任、選任される。</p> <p><議事> (1)池田市立3R推進センター指定管理者の評価について ■評価シート及び参考資料の説明／事務局 ・ 予算よりも人件費がかさんでいるのは何故か。(委員) → 仕様書により2名体制をお願いしているが、年々来場者も伸びており3名以上の体制が余儀なくされている。また、計画外のイベント協力によっても人手が必要となっている。以上がその理由と理解している。(事務局) ・ 委託費はどのように決定されているのか。(委員) → 指定管理費が予め決まっており、その中で出来る範囲のことを提案いただいている。また、事業収入によりまかなっていただいている。(事務局) ・ 今後、市民共同発電基金をどのように運用される予定か。(委員) → 基金の設置者は池田新エネ推進協議会で基金の使い道もこちらで決定される。指定管理者も協議会の一員であり、リユースショップの売り上げの7割を基金に充当しておられる。1号機は池田駅前てるてる広場に設置されており、2号は庁舎向かいの公民館に設置予定。(事務局) ・ 光熱水費が大きなウエイトを占めているが、節電・啓発のためのLED設置計画はないか。(委員) → 光熱水費は定額となっており、投資効果が反映され得ないため計画はない。(事務局)</p> <p>■現地視察／指定管理者より説明、質疑応答(Q:委員 A:指定管理者) Q:リユースショップの販売商品の値段はどうやって決めるのか? A:マニュアルを作成しており、各自それに従って付けている。あとは経験とスタッフ同士の相談によって決定している。 Q:他店との競合はないか? A:これまで耳にしたことはない。良いものについては、優良買い取り店をお勧めしている。 Q:スタッフはどんな役割を担っているのか? A:寄付の受付、値付け、陳列、整理、レジなど。 Q:なぜ卓球台が置いてあるのか。 A:オリンピック選手を輩出したことも有り「卓球のまち池田」を掲げているため。ミュージアムとしては、子どもへの環境意識ことも重要なので、その一環として行っている。 Q:事業参加者数が年々減っているのは何故か? A:当初は施設の認知度を上げるために地域活性課事業に協力し寄席の場所を提供していたので、その参加者数がカウントされていたため。 Q:アンケートは実施していないのか?意見箱の設置は可能か? A:実施していないが来場者とのコミュニケーションや苦情などは、月一回の運営会議で</p>		

共有し対策を取っている。意見箱の設置は可能だが対面でのやりとりを基本としている。

Q:子どもたちがエコミュージアムに関わることはあるか？

A:学校で実施されているボランティア活動に協力している。子どもたちを受け入れて商店街の清掃活動や施設の手伝いをしてもらっている。職業体験にも協力している。

提案:「ゆずります、ゆずってください」の掲示を入館しなくても見られるようにしてはどうか。

大事に使っていたことや思い出など前に使っていた人のメッセージを付けて販売してはどうか。

<評価審査>

(A委員)評価:優/意見箱を設置するなどアンケートを実施することが望ましい。

(B委員)評価:優/アンケートは必要。さらに市民との交流の場としての活動を期待する。

(C委員)評価:優/敢えて要望するなら、売上げが太陽光の設置につながっているので、市としても売上げの更なる向上を期待する。そのために販売手法などの改善を検討いただきたい。そのためのアイデアなどアンケートや意見箱の設置など外部からの意見を積極的に取り入れて欲しい。

(D委員)評価:優/4年間よく頑張っておられ、その成果として売上げを伸ばしそれを市民共同発電という環境事業へ投資していることが評価できる。さらに空き店舗などが目立っていた商店街でエコミュージアムの集客が年々伸びているというのは、商店街の活性化にもつながっている点で評価できる。

(会長)評価:優/モノを通じての交流事業は充実化が図られている。それに啓発という部分をどう添えていくか、若い視点若い力で工夫をして環境意識を高めていくことを期待する。卓球台設置や落語寄席の開催の工夫に見られるように、環境に関心のない人への波及効果を生む取り組みにも期待する。

(2)池田市立3R推進センター指定管理者募集要項について

■募集要項の説明/事務局

• やっていただく事業項目に、いま指定管理者が実施している事業が挙げられている。これを継続してやってもらうことにすると、現指定管理者以外が新規に提案しにくいのではないか。(委員)

→ まったく自由に提案いただくことも大事だが、5年間継続してきた事業であり突然なくなると現在利用いただいている方々からの期待にそぐわないと考えている。(事務局)

• 市がエコミュージアムを使って何をやりたいか、指定管理者に何を求めるかといった部分であるため、委員会で決定する種の事項ではない。(委員)

• 5年間で定着してきたものが全く別物になると市民に不便を掛ける心配があるので、挙げておく方が良い。また、ある程度の具体的な内容がないと新規提案者にとっては提案しにくいのではないか。(委員)

• エコミュージアムというスペースをどう有効に活用するかという幅広い創造的な提案を求めるのであれば、現指定管理者においても現在の事業をさらにブラッシュアップし

た提案をすることにつながる。とはいえ、定着した事業については継続して欲しい思いもあるが、最終的には市の判断である。その判断のためにはやはり、アンケート調査などが有効なのではないか。(委員)

- 前回の募集の際には、これらの項目は提示していたのか。(委員)
→ していた。リユースショップ「に関する業務」としているの、基本的にリユースショップをやっていたが、どのようなものにするかは提案者によって独自性が発揮できると考えている。(事務局)
- 「3Rの推進に関する業務」としておき、リユースショップやリユース食器の貸出、使用済み天ぷら油の回収などは例示しておく、少し提案の幅が広がるのではないか。(会長)
- 市がリユースショップを必ずやらないといけない業務とするかどうかを、まず、はっきり決める必要がある。(委員)
→ 環境保全にもつながり、収益をさらなる環境保全事業に活用できる事業として、市としては現在リユースショップ以外の有効策がないが、更に有効な事業があれば受け入れたい。一方、これまで定着してきたものをどう考えるかということもあるため、例示はさせていただくとしても提案の幅を広げておく会長の案が良いように思える。(事務局)
- 現場を見て、リユースショップは集客にもなり、それを入口に啓発につなげられるいわば、3R推進の根幹になっていた。これはどんな事業者であっても継続してやっていただいた方がよい。リユース食器貸出や天ぷら油回収は手法であるため、もっと環境行政が推進、環境意識の啓発に寄与する事業については提案を受け入れてはどうか。したがって、「リユースショップに関する業務その他3Rの推進に寄与する業務」としてはどうか。(委員)
- 2委員の意見に賛成である。(委員)
- 現場を見て、市民への定着、唯一収益があがっているという面からリユースショップは必須だと考える。他の事業については、現指定管理者にその有効性を検証いただき、続けるかどうかの判断、代替案の提案を求めたい。(委員)
- 委員会としては、リユースショップを必須として、その他は広く提案を求めべきということで参考意見とする。後は投資をしている市が、意見を参考に判断して、書き方を決定してください。(会長)
→ 事務局で判断のうえ修正し、委員のみなさまにご覧いただく。(事務局)

(3)池田市立3R推進センター指定管理者候補者選定ガイドラインについて

■ガイドラインの説明／事務局

市の積算価格(現行の指定管理料がベース)の数字を超えた場合でも足切りはせず、価格に見合う付加価値があるかどうかを含め本委員会において評価いただく。したがって、応募者はすべて委員会で評価いただき、積算価格を上回ったものでも選定される可能性はある。(事務局)

- 4枚目の「◆価格審査」の数字が60点となっているのは70点で良いか。(会長)
→ 70点の誤りである。(事務局)
- 募集要項に積算価格を記載するのか、聞かれた場合答えるのか。(委員)
→ 予算書が閲覧できるため公になっているため記載しない。質問があれば答える。(事務局)
- 採点表の比率は前回と同じか。違うなら理由は何か。(委員)
→ 前は100点満点のうち価格が30点。前回の配分から5ポイント上げた。市全体の

	<p>考え方で価格を30から50%にすることとなっており、内容重視ではある。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 募集要項の議論で、より良い事業提案を受け方向性が出されたことを踏まえると、そのことが評価されるウエイトにしておくのが良い。今のままだも、我々が事業重視の方向を踏まえて採点すれば今のままだも良いように思うが、管理運営に関する事項の50点のうち10点を事業実施に関する事項に移行させるという方法もある。(委員) • 独自性を求める上では、委員のおっしゃるとおりだと思う。価格審査の部分や管理運営に関する事項の部分で「センターの目的に合致した」と言う項目に振り向ける方が良い。(委員) • 管理運営に関する項目が多すぎるように思う。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → きちんと管理してもらうことは必須と考えているため、項目が多くなっている。管理運営に関する事項の項目は削らず配点を抑えた分、事業実施に関する項目の点数を高めることを検討したい。(事務局) • この点数配分は、応募者に示すのか。示せば行政が何を重視するか理解した上で提案してもらえる。(会長) <ul style="list-style-type: none"> → 示す。(事務局) • いま、配点について細かく検討した方が良いか、方向をお示しして事務局に任せる方が良いか。(会長) • 事務局に任せる(全委員) • では、事業を重視した内容になるよう、修正をお願いする。(会長) <p>(事務局)いただいた宿題については修正のうえ、委員のみなさまにご覧いただき、決定させていただきます。</p> <p>※第2回 選定・評価委員会:10月2日13時からに決定</p> <p><閉会></p>
準備資料	<p>1.次第 2.委員名簿 3.指定管理者の管理運営に関する評価シート／(参考)池田市立3R推進センター(エコミュージアム)平成24(2012)年度事業報告書／(参考)平成25年度池田市立3R推進センターの管理運営に係る協定書及び仕様書／(参考)池田市立3R推進センター・エコミュージアム収支決算補助資料等財務諸表 4.池田市立3R推進センター指定管理者募集要項(案) 5.池田市立3R推進センター指定管理者選定ガイドライン(案) 6.池田市立3R推進センター指定管理者選定・評価委員会規則</p>